

目次

1. 第76回総会及び第83回高知大学大会報告
2. 来年度（立正大学）大会について
3. 委員会・ワーキンググループ活動報告
4. 募集告知
5. その他

1 第76回総会及び第83回高知大学大会報告

5月18日-19日に高知大学で日本哲学会大会が開催されました。会員・非会員問わず多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

1.1 一般報告

2023年度日本哲学会事業報告は配布した報告に記載の通りに承認されました。

1.2 会計報告

2023年度日本哲学会会計報告は配布した報告に記載の通りに承認されました。

2024年度日本哲学会予算は配布した報告に記載の通りに承認されました。

1.3 各委員会報告

各委員会の報告については総会議事録をご確認ください。総会議事録は以下からご覧いただけます。

https://mailer.kintoneapp.com/attachment/675e914a-a7dc-44f1-b2ed-2a73967cbaf1/14/template/288/attachment_file/confirm

1.4 2023年度(2024年4月発行『哲学』第75号および『哲学の門』第6号)日本哲学会若手研究者奨励賞、『哲学の門』優秀論文賞

中真生編集委員長より選考過程の説明があり、納富信留会長から賞状が授与されました。受賞者・受賞論文は以下の通りです。

若手研究者奨励賞受賞者：竹内彩也花

論文：「『善の研究』の「基礎づけ」再考——「純粹経験」における超越論的な統一の分析を介して」

『哲学の門』優秀論文賞(50音順)

受賞者：後藤祐次郎

論文：「色が色を見る、音が音を聞く——西田幾多郎による「感覚」の超越論的基礎付けの試み——」

受賞者：中谷碩岐

論文：「エコノミーシス」における「音声=ロゴス中心主義」と信の問題」

受賞者：内藤正博

論文：「メアリ・ウルストンクラフトの自由概念について」

受賞者：倉科俊佑

論文：「ハイデガー『存在と時間』における「歴史性」と選択の問題——現象学的歴史論の存在論的な拡張に向けて——」

2 来年度(立正大学)大会について

2.1 開催場所：立正大学

開催日：2025年5月17日(土)・18日(日) 時間詳細は決まり次第HPでお知らせいたします。

2.2 各企画とテーマ

企画	テーマ	
----	-----	--

大会シンポジウム 2025年5月17日(土)	「感情はどのように哲学的に論じられるか:感情と政治」(仮題)	和泉悠、池田弘乃、中畑正志
学協会シンポジウム 2025年5月18日(日)	「スピリチュアリティ/霊性について」(仮題)	堀江宗正、井口真紀子、伊原木大祐

哲学教育ワークショップ、初期キャリア研究者支援ワークショップ、インターナショナルセッション等については詳細が決まり次第 HP でお知らせいたします。

3 委員会・ワーキンググループ活動報告

(8月下旬頃までの各委員会・ワーキンググループの活動をご報告いたします。)

編集委員会	2024年度『哲学』応募論文の受付を6月末に締め切り、44本の論文を受け付けた。『哲学の門』応募論文の受付も8月末に締め切り、32本の論文を受け付けた。また欧文一般公募論文(自由テーマのもの)の受付も8月末に締め切り、2本の論文を受け付けた。いずれも現在査読中である。
大会企画委員会	来年5月に開催される第84回大会について、大会シンポジウムのテーマは「感情はどのように哲学的に論じられるか:感情と政治」、学協会シンポジウムのテーマは「スピリチュアリティ/霊性について」(いずれも仮題)とすることに決定し、現在準備を進めている。
選挙管理委員会	2024年度は役員改選の年度である。前回まではハイブリッド投票で実施していたが、2024年5月の会員総会で「役員選出・評議員選挙細則」「会長選挙細則」を改定し、今回から会長選挙以外はオンライン投票に一本化することになった。大まかなスケジュールは以下のとおりである。 (1) 2024年度評議員選挙はオンライン投票により年内に行い、受諾確認作業を12月末までに行う。 (2) 理事・会計監査選挙は、オンライン投票により年明けに行い、その後、受諾確認作業を行う。 (3) 新会長は、2025年5月の特別理事会において選出する。 詳細は11月上旬にホームページで公表する。 選挙公示後、事務局に登録してあるメールアドレス宛に投票の案内を送付する。今回は投票用紙の郵送はないので、ご注意ください。選挙は学会の民主的な運営の基盤である。一人でも多くの会員に投票いただければ幸いです。
林基金運営委員会	(1) 運営方針に基づき、条件に該当する以下の2名に、第13回(2024年度)林基金若手研究者研究助成を行いました(岡部幹伸氏、佐々木尽氏) (2) 林基金出版助成の今年度の応募はありませんでした。
国際交流委員会	第7回日中哲学フォーラムは2023年9月に東北大学にてハイブリッド方式で開催され、日中双方から多数の研究報告がなされた。次回は2025年に北京で開催の予定で準備を進めている。大会におけるインターナショナルセッションは高知大会では取りやめ、次回立正大学大会から再開することとした
男女共同参画WG	2024年5月の第83回日本哲学会大会では、男女共同参画ワークショップ「哲学史研究・教育にジェンダーの視点をいかにとり入れるか」、および女性研究者を対象とした「ランチタイム懇話会(学会のもやもやを語ろう!)」を開催した。

WCP 招致に関する WG	2024 年 8 月にイタリア・ローマで開催される WCP 大会でセッションを共催するとともに、2028 年の WCP 大会を東京に招致する活動を行った。
哲学教育 WG	第 83 回大会哲学教育ワークショップ「『特別の教科道徳』と検討する」を開催した。実施報告は次号の『哲学』に掲載される予定である。次回大会ワークショップに向けてテーマ決定を含め準備を進めている。
将来構想・事務局改革 WG	学会会計で年々大きな赤字を出している状況を事務局と検討した結果、2026 年度からの会費値上げ案を 2025 年 5 月の総会にかける予定で、12 月の理事会で最終審議する。理事会での決定が出次第、会員に説明を回覧する予定にしている。
初期キャリア研究者支援 WG	第 84 回大会（2024 年 5 月 18 日昼休み）にランチタイム談話会を開催した。現在、2025 年度第 85 回大会での当 WG 主催ワークショップ（テーマ案「多様なキャリア形成」）を準備中である。また、7 月 20 日の理事会で初期キャリア研究者支援 WG に二人の新規メンバー（真田美沙さんと高野保男さん）を迎えることが承認された。
欧文誌編集委員会	<i>Tetsugaku</i> Vol. 8 (World Philosophy) は刊行が遅れており、年度内に刊行される予定である。今年度分から J-stage へのアップロードも行う予定で進めている。Vol. 9 の一般投稿論文は 8 月中に公募を締切っており、Call for Papers については追って公開予定である。
研究倫理委員会	規程類や相談窓口のグーグルフォームは整備され、常時相談受付を行っている。規程類の内容や制度の周知に努めている。

4 募集告知

日本哲学会では以下の公募を行っております。詳細を HP でご確認の上、奮ってご応募ください。

- 4.1 日本哲学会大会一般研究発表および公募ワークショップの募集（立正大学大会）
詳細については HP をご確認ください。使用言語は日本語の他に、英語、独語、仏語も受け付けます。
応募締切：10 月末日（データ、フォーム提出は当日必着、印刷物は当日消印有効）
- 4.2 林基金出版助成の募集
若手・中堅会員による、哲学に関する基礎研究のかつ、学術的価値が高い論文の出版費用として 50 万円を助成します。応募は随時受け付けています。詳細は以下のページをご確認ください。
<https://goo.gl/LhE3dS>
- 4.3 欧文雑誌 *Tetsugaku* 掲載論文
欧文誌 *Tetsugaku*、特集論文については、公募期間・内容等の詳細を改めて会員向けに告知いたします。
欧文誌 *Tetsugaku* に掲載される一般公募論文について、本年度分の募集は 8 月末日で終了いたしました。
- 4.4 『哲学』公募論文
機関誌『哲学』に掲載する日本語論文は、毎年 6 月 1 日～6 月末日の期間で募集します。本年度の募集は終了いたしました。

5 その他

5.1 事務局連絡先

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 立教大学文学部 河野哲也研究室
nittetu@philosophy-japan.org
※事務局員は常駐しておりませんのでご了承ください。

5.2 所属、住所等の変更、退会申請について

5.2.1 会員の皆様の所属や住所等の変更のご連絡先

随時メール (nittetu@philosophy-japan.org) またはフォームで受け付けています。特にメールアドレスと住所については機関誌等の配布に関わりますので、最新データの更新にご協力をお願いいたします。必ずメールまたはフォームでご連絡ください。
ご連絡用フォーム | <http://philosophy-japan.org/about/>

5.2.2 退会申請について

本年度退会希望の方は所定の退会申込書を事務局宛にご提出ください。なお、日本哲学会の会計年度期間は3月1日～翌年2月末日となっており、3月1日以降に申込書を提出された場合には当該年度分の会費が発生しますのでご注意ください。

退会申込書の書式はこちらからダウンロードできます。 <https://goo.gl/qM33mu>

5.3 会費納入のお願い

金額：6000 円/年（申請期日までに会費減額を申請し承認された方は 4000 円です。）

現時点で会費未納の方は以下へお納めいただきますようお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行以外の金融機関口座から送金の場合

ゆうちょ銀行 ○一九店（名前）日本哲学会

（預金種目）当座預金（口座番号） 0112651

：ゆうちょ銀行の口座から送金の場合 受入口座番号 00190-0-112651

5.4 会費減額について

2024 年度の申請は締め切りました。年度内新規入会者は、条件に該当する場合、特例として入会申込時に申請することが可能です。

5.5 会員資格について

日本哲学会では 4 年以上会費未納の会員は会員資格を停止するものとし、機関誌『哲学』等の発送も停止させていただいております。会員資格を停止された方は、論文の投稿や大会での研究発表はできません。資格の復活を希望される場合は、会費未納期間分の支払いが条件となりますので事務局までご連絡ください。

5.6 国際交流基金への寄付金について

国際交流基金への寄付は随時受け付けております。

ゆうちょ銀行（店名）○一八店（名前）日本哲学会国際交流基金

（預金種目）普通預金（口座番号）8751303

5.7 第 26 回 WCP（世界哲学会議）大会の日本・東京開催について

去る 8 月 1 日から 8 日まで、イタリア・ローマのサピエンツァ大学で第 25 回 WCP（世界哲学会議）大会が開催され、日本からも多数の発表者が参加しました。8 月 4 日に開催された FISP 総会で次回 2028 年の開催地選定が行われ、投票の結果、東京に決定いたしました。

日本哲学会では 2023 年春に一ノ瀬正樹会長（当時）が FISP に対して正式に立候補を表明してから、同年 5 月には FIPS の年次運営委員会を東京大学で開催するなど、着実に準備を進めてまいりました。次回の開催には、エチオピア・アジスアベバとアラブ首長国連邦・フジャイラも立候補しましたが、東京が過半数の得票で選出されました。招致活動に関わってきた皆様に厚く御礼申し上げます。

WCP は世界最大の哲学の国際会議で、世界中から哲学研究者・学生が集って様々なテーマで議論を行います。1900 年にバリで始まって以来、日本では初の開催となります。主催となる日本哲学思想系学会諸連合 (JFPS) は、2028 年 8 月東京大学本郷キャンパスでの開催を提案しており、東京観光財団 (TCVB) などの協力を得ながら、これから準備を進めてまいります。この機会を活かして日本の哲学の一層の発展と海外への発信、世界中の哲学者との連携を進められれば幸いです。ご協力のほど、よろしくようお願い申し上げます。

2024年8月9日 日本哲学会会長・FISP 運営委員 納富信留

以上